

令和3年度 本宮市介護保険運営協議会兼本宮市地域包括支援センター運営協議会
(書面開催)

令和3年度第1回本宮市介護保険運営協議会兼本宮市地域包括支援センター運営協議会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面開催とした。

I. 通 知 令和3年8月16日付けで各委員あてに書面開催通知を發出し、内容についてのご意見・質問等の提出を依頼した。

II. 参 加 者

委 員：吉田委員、古田部委員、安田委員、檜村委員、安齋委員、川名(直)委員
川名(克)委員、遠藤委員、堀内委員 川名(修)委員 計10名

事務局：渡辺高齢福祉課長、森川包括支援係長、川名介護保険係長
桑原本宮第1地域包括支援センター長、遠藤本宮第2地域包括支援センター長、
佐藤白沢地域包括支援センター長

III. 報 告

- (1) 介護保険事業の状況について
- (2) 令和2年度介護給付費の状況について
- (3) 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み状況について
- (4) 令和2年度本宮市地域包括支援センター活動報告について
- (5) 地域密着型サービス整備事業について
- (6) その他

IV. 内容に関する意見・質問に対する回答
別紙のとおり

令和3年度第1回介護保険運営協議会(書面開催)ご意見・質問の回答

資料No.	ご意見・質問事項	回 答
資料1 P2	介護給付費の推移をみると、令和3年度計画値の伸びが大きいと感じる。	令和3年度の計画値は国の示す指標に基づき、介護サービスごとに「介護サービス延べ利用者数×介護給付単価」により積算し、合算した結果になっております。令和2年度の途中までの実績値と、国の示す推計ソフトにより積算しております。
資料2 P3～5	令和2年度決算額は令和2年度計画に比べマイナスとなっているサービスが多い。高齢者は「コロナ感染が怖い」、「どこにも行けない」という方も多い。県外在住者と面談した場合に、当分の間、介護サービスの利用を不可としている介護事業者もある。コロナ感染症が世の中から無くならない社会を前提として、介護給付費の積算見直しをしなくてよいか。	ご指摘のとおり、令和3年度以降を計画期間とする現計画作成の際の基礎数値に、コロナ感染症感染拡大時の給付状況は十分に反映されておりません。今後、介護保険事業計画と介護給付の実績値については、十分に注意しながら、推移把握に努め、見直しが必要な時はお諮りしてまいります。
資料3 P7	項目 2.介護予防推進の令和3年度計画に記載の①リハビリテーション活動支援事業の実施とは、具体的にどのようなことをするのか。	住民主体の通いの場や地域ケア会議で検討された事例に対し、理学療法士等のリハビリテーション専門職を派遣し、専門的な評価や助言により、効果的な介護予防を図ります。
資料3 P7	(地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み状況の)令和3年度計画の中に災害等に関する支援活動等は入れなくても良いのか。	市では、本宮市地域防災計画に基づき、災害時予防、応急対策で災害時要支援者の支援策の確保を図るため、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者等を災害時要支援者として台帳整備しております。また、今年度からハザードマップの浸水地域で在宅の要介護3～5の方の個別避難計画作成の支援を進めているところです。今後とも、市の防災担当課、警察、消防などと連携しながら、高齢者の自主的な避難行動につながるよう努めます。なお、災害に対する対策等は高齢者福祉計画に記載しております。
資料3 P7	項目 4.在宅医療と介護の連携については、コロナ禍における取り組み活動となるよう、今後の見直しが必要ではないか。	コロナ感染症の拡大時にも十分に連携が保たれるよう、見直しが必要な部分があれば県北保健福祉事務所と協力しながら改善に努めます。

資料4 P8～13	地域包括支援センターの業務は、地域包括での事業等や相談も多く大変かと思う。第1地域包括支援センターは人員が不足しているようなので早めに整えられると良いと思う。	高齢者の方の総合支援の観点から専門職の配置は必要なため、委託先事業所に早期の欠員補充を指示するとともに、市の広報誌、ホームページ、そしてハローワークや福祉専門職養成機関等への訪問により、地域包括支援センター職員の募集案内に努めています。また、地域包括支援センターの定員に加え1名増員できるセンターから体制強化を図っているところです。今後とも人員補充と共に、情報交換を密に行いながら、連携を図ってまいります。
資料4	専門職との研修ばかりでなく、一般市民に対する介護予防啓発が一層必要ではないか。	地域包括支援センターは、認知症などを含めた介護に関する総合的な相談窓口であるとともに、介護予防啓発活動も大事な業務の一つと認識しています。また、地域の専門職との連携、情報交換の場を提供することも重要なことと考えております。今後、一般市民の方々にもわかりやすく介護予防いただけるよう啓発に努めてまいります。
その他	コロナ禍のなか、クラスターが心配です。デイサービスを利用している人も施設でクラスターが出れば、訪問サービスを利用すると思います。また、外出も控え足腰が弱くなり支援が必要になることが増えると思います。個人宅訪問が難しいコロナ禍ですが、支援活動をしてほしいです。	新型コロナウイルス感染による施設でのクラスター発生に備え、市内の訪問系の介護事業従事者の方々には、優先してワクチン接種を受けていただきました。 元気な高齢者の中にも、外出控えによる機能低下が進むことを危惧しており、自宅でできる簡単な体操やフレイル予防の啓発、地域活動などにおける感染予防の助言や介護予防教室開催案内など、各種支援活動を今後も行ってまいります。